

どんな時でも全力疾走!

西中学校
野球部

ぼくたち西中学校野球部37人の合言葉は、『どんな時でも全力疾走!』です。

練習はほとんど毎日で、メニューはランニング 準備体操 キャッチボール トスバツティング バツティング 守備と続きます。冬場のランニングは寒くてつらいけど、仲間や先生との会話が何よりも楽しい部活です。

顧問の本多史二先生は、普段は優しいけれど、部活になるととても怖くなります。「基本を忘れるな」



「西中 ゼイ オー」



「声を出せ!」
ストレート勝負だつても言われる

ことですが、最低限のプレーができなかったときなどは、「出て行け」とか「どけ」といった厳しい声がかかります。

ぼくたちの目標は、夏の中学校総合体育大会の地区大会で優勝し、県大会に出場すること。そのためには



守りは任せる

「もっと野球を知る」とが必要だ」と本多先生は言います。チームは、干すの手代木君を中心にとまっています。さらにバツティングを強化して、目標達成に向かってがんばりたいと思います。

もうすぐ新人部員が入ってくるけど、つらくてもやり通せる自信がある人なら大歓迎です。ぼくたちと一緒に『全力疾走』しようぜ。



柵越えを狙え



なかまと一緒に

竹と会話をしながら音を創り出す



日々精進

竹成会 (尺八)

わたしたちは、公民館の尺八教室がきっかけで、サークルを結成しました。成田公民館で毎週金曜日、大木恒男先生に指導を受けています。尺八を始めるときは、古典への憧れやその独特の音色です。心が和むというが、日本の音と感じました。竹の根っこ部分を切り取り、中の節を抜き、5個の指穴を開けた



心が和む音色が大好きです

しかし簡単には音が出ないので、納得する音を出せない。自分の唇で息の角度と方向を調整しなければならぬ。同じ音を出すのに何日もかかることがあります。自分で音を創り出す創作楽器と言ってもいいですね。とても奥が深いです。また、箏・三味線などの和楽器はもちろんです。洋楽器などの音ともよく調和するし、不思議な楽器です。微妙な音を唇や指で感じ取りながら吹くさまは、竹と会話をしているかのようです。「継続は力なり」と言いますので、自分の音が出せるよう一生懸命頑張っています。

チョンマゲを結い 刀を持っている日本人

石井クラリスさん(小倉)

わたしのふるさとにはフィリピンのボラカイ島です。マニラから飛行機で約50分。そこから車で2時間ほどかかります。ヤシの木と白い砂浜が美しい所です。季節は一年中夏ですから、子どものころは海で泳いだり潜ったりしてよく遊びました。

日本人に対しては、チョンマゲを結い着物(和服)を着ていて、刀を持っていると学校で習いました。また、ヤクザがたくさんいて、怖い国であると両親から聞いていました。87年に初めて日本へ。実際に来てみると、想像とは全く違ってびっくりしました。90年には、大阪で開かれた花博覧会のフィリピンパビリオンのコンパニオンとして働くチャンスに恵まれ、日本での生活や食べ物にも少しずつ慣れました。でも、初めて体験した冬には、あまりの寒

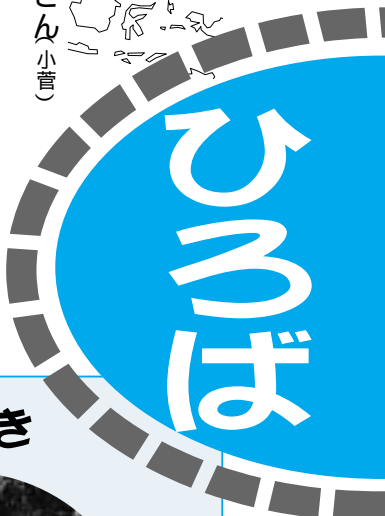


ヤシの木と白い砂の美しいビーチ



さにジーンズが出ました。たぶん環境の変化に体が対応できなかったでしょう。今は大丈夫です。大きな失敗もありました。それは、家にかかるときフィリピンでは靴を脱ぐ習慣がないので、靴を履いたまま上がってしまったのです。「靴を脱いでください」と言われ、慌ててスリッパに履き替えました。でもこれは、家の中をきれいに保つためのよい習慣だと思えます。成田には平成5年から住んでいますが、家族や地域のみなさんにいろいろと教えていただき、だんだん成田の人になつていくところです。

ふるさとトーク フィリピンボラカイ島



ペット大好き



及川恭子さん(中台)
アクア(オス)

3年前、成田に引っ越してきました。朝夕の散歩のおかげで、すぐにたくさんの人と知り合うことができ、友人もできました。人懐っこいアクアが、いろいろな人に巡り合わせてくれたと、とても感謝しています。

スクスクのびのび

檀上蓮斗くん(3歳) 囲護台

もうすぐ赤ちゃんが生まれて、お兄ちゃんになるの。それから自転車に上手に乗れるようになったよ。お気に入りの自転車はおじいちゃんとおばあちゃんからのクリスマスプレゼントなんだ。



奥山裕貴ちゃん(加良部)



こんにちは
赤ちゃん

眞田詞音ちゃん(飯田町)

